

高齢者急性胆嚢炎に対する経皮経肝胆嚢ドレナージ後 早期胆嚢摘出術の安全性に関する研究

1. 研究の対象

2020年4月～2026年3月に当院で胆嚢摘出術の手術を受けられた方

2. 研究の期間

研究倫理審査委員会承認後 ～ 2027年3月31日

3. 研究目的および意義

急性胆嚢炎に対する早期胆嚢摘出術は急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドラインで推奨されていますが、高齢者では併存疾患も多く早期の手術では手術のリスク評価が不十分になり思わぬ合併症を引き起こす可能性があるため経皮経肝胆嚢ドレナージ(PTGBD)を先行する場合があります。PTGBD後の至適手術時期については明確にされていませんが、炎症の消退を目的に4-6週間程度間隔を開けた場合に術後の合併症が少ないと言われていいます。しかし高齢者ではPTGBD後に本人あるいは介護者がドレナージチューブの管理ができず、手術までの自宅待機が困難で長期入院とならざるを得ないケースが認められており、その間にADLが低下するなどの長期入院による弊害が問題となります。現在当センターでは急性胆嚢炎に対してPTGBDを挿入した症例に対して、挿入後2週間以内の手術を基本方針としています。本研究ではPTGBD後の早期胆嚢摘出術の安全性評価を目的とします。

4. 研究の方法

みなさまの診療録(電子カルテ)からデータを収集させていただきます。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 手術関連情報、術後合併症、画像所見、採血データ等のカルテより得られる情報(個人が特定できる情報は含みません)

6. 研究組織

研究責任者

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 外科 中里 徹矢

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なお対応ができない場合がありますことをご了承ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：中里徹矢

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター 外科

電話 03-3964-1141 （平日 9：00～17：00）